京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所 京城新報社

雜報

俵次官の訓示（中）

予は曩に東京に出張せし砌にも韓國官私留學生を招致して此趣旨を訓示したることあり惟ふに家庭若くは政府より學資を仰げる身を以て其父兄及社會の期待せる道を逸し是等時事問題に容喙するが如きは實に痛歎に堪へざるところにして當時大韓興學會の學生中往々にして此弊風あるを憂ひ深く將來を訓戒したりしに學生等は曾つて政治問題に關係することなしと答へながら今尚之に狂奔せる者ありと聞く斯の如きは留學生たるの本領を忘るゝものにして其前途甚だ憂ふべきものあり此弊風は在東京の留學生に多く殊に私費生の間に流行せるを見る是れ實に學生の本分に違背し獨り一身の不利益なるのみならず父兄の之を留學せしむる意志に協はず政府の之に期待する趣旨に戻るものと謂はざるべからず諸子たるもの深く之を肝に銘じ造次顚沛にも其本分を忘るゝ勿れ

三諸子の身体檢査の結果を見るに中等に位するもの多く概して強壯なる体格と云ふを得ず抑も健全なる身体にあらざれは健全なる思想を把持し其志望を達することは能はざるを以て常に攝生に注意し務めて身体の健康を圖るべし是れ諸子が父兄に對し政府に對する義務にして又成業の基礎なりとす而して體格体質上多少身體の虛弱なるも自己衛生の注意によりて之を補足することを得べし若しそれ不品行の結果よりして其健康を害し疾病に罹るものありとせば是れ沙汰の限りにして眞に留學生の體面を汚すの甚しきものなり故に平素品行を慎しみ飲食の攝生に注意し身體不健全なるが爲め留學生免除の不幸に遭遇するが如きことなからんことを望む

四諸子履修學科の志望に關しては是れが決定前十分に考慮熟議し既に一旦決定したる以上は決して變更すべからず飽くまで最初の決心を貫徹すべし半途之を變更するが如きは大なる損失なるのみならず又任意に之が變更を許さざるなり但し萬止むを得ざる事情ある場合には留學生監督に於て學部大臣の指揮を受けて指定變更の命令を發することなきにあらずと雖も是等は不得止例外なりと知るべし

●導掌處分公債條例

度支部臨時財產整理局に於て調査中なりし導掌處分に就ては公債證書を賜與する事となり該公債條例は昨日の官報を以て左の如く公布せらる

導掌賜金公債證券條例

第一條 政府は導掌賜金に充つる爲め導掌賜金公債證券を發行す
第二條 本證券の利子は一箇年百分の五とす
第三條 本證券元金は發行の年より二十箇年以內に隨意償還するものとす
第四條 本證券の利子は毎年六月及十二月支拂ふものとす
第五條 光武九年勅令第三十五號國庫證券條例第七條及第九條以下は本證券に準用す但し國庫證券條例中「第一銀行」とあるは韓國銀行と改む

韓國の山林事業

韓半島の氣候は南北兩部に於て差等あり隨て植物の分布亦自ら同じからず鴨綠江、豆滿江の兩流域上流地方に於ける針葉樹は唐檜、落葉松、モミ、朝鮮五葉松を潤葉樹は樺、白楊を主とし其鬱蒼たる樹林は渺茫として際涯なし而して南韓に在りては到る處赤松を主要木とし櫟、カシワ、ケヤキ、榎、椋、赤楊、胡桃、ニレ、柳等其最南部に至りては黃楊、カシ樣等の常綠樹及竹林の繁茂せるありて是等生育の狀態は殆んど日本と相等しく加ふるに林野の總面積一千百萬町を算し全國土の四七〇を占む之を各國の林野面積に比すれば山岳の多き日本の次位にありと謂ふべし然るに古來何等の林政なく林業なく全然放任して濫伐を重ねたる結果荒廢其極に達し山骨露出土砂崩壞し只僅かに交通不便なる山岳地方或は島嶼若くは皇室に關係を有する陵園墓附屬、森林等稍見るべき林相を有するに過ぎざれば大に之が復舊改善の策を講ずるの急務なるを認め明治四十年始めて苗木養成と模範とを兼ね水原、大邱、平壤の三ヶ所に苗圃を開設し各種の種子を播種すると共に其有利有望の事業なるを示さんが爲め可成人目に觸れ易き京城白雲洞及平壤牡丹臺の二ヶ所に植林を開始せしが苗圃及植栽事業孰れも成績頗る佳良なるを以て漸次苗圃を增設すると同時に部分林の獎勵、種苗無料下附、巡回談話等を行ひ林業思想の普及に努め更に明治四十一年森林法を發布し保護植伐の方法順序を規定し茲に漸く積年荒廢せる山野をして其面目を改めしむるの基礎が定むるに至れり又鴨綠江及豆滿江沿岸森林の經營は去る明治三十九年十月日韓の協同經營約款に依り統監府營林廠及韓國西北營林廠を新義州に設け支廠及び出張所を上流沿岸數ヶ所に置き多數の日韓人を使役して伐木運材并に製材事業を經營せり而して現在森林調査に着手し居れば調査終了後に於て林政方針も具體的に確定するを得べく有望なる半島の山林事業は遠からず其緒につく可し

●平壤無煙炭採掘高

平壤鑛業所に於ては目下三百餘名の日韓人を使役して無煙炭の採掘に從事し居れるが日々の採掘高は約百五十噸平均にして昨年以來の採炭は間斷なく鎭南浦より德山煉炭所に輸送しつゝあるも尚は目下同所に貯積し居れる炭量は約二萬噸以上に達し居れり而して本年の採炭高は六万噸を以て限定しあるも前記の如く既に二万噸余の貯炭あれば今后本年度中に四萬噸の採掘あれば豫定額に到達する譯にて隨て採掘上には今後何等の擴張を爲さず當分現狀維持の方針なりと尚は現在採掘中の炭層は水平線以上の上層のみにて炭層には非常に厚薄あり厚きは二間より三間位の炭層を有し居れど薄きに至りては僅かに一二尺に過ぎざるものある爲めに採掘上頗る困難を感じ採掘高亦非常の差異ありて一樣ならず然れども是れを平均に見積れば前記の如く一日約百五十噸內外の採掘あり今年中に四萬噸の採掘は頗る容易なりと云ふ



●進歩黨の創立總會

新たに生れたる進歩黨は一日午後一時より普成中學校講堂に於て創立總會を開き總裁に閔泳韶、副總裁に李基斗、幹事に文鐸外五名議事員十五名を擧げ左の主義綱領を宣言せり

一 民族の生活方道を開導すること
一 民族の妄動原因を矯救すること
一 民族の自治精神を培養すること

因みに同黨は素と政友會の分身なりしが政友會幹部の高義駿、鄭應卨等が黨內に跋扈して無人の振舞を爲すより李基斗、文鐸等の一派は閔泳韶を擧げて遂ひに社會黨なるものを組織したるが其の名稱は社會主義を意味するの嫌なきにあらざるより進歩黨と號名したる

日本銘刀傳

第百三席 津田近江之守（七）

邑井一貞講演

「是れは御立派なものでござる」九「何うか充分遠慮なく言つて貰ひたい、貴殿はなかなかの鑑定家ぢやさうだ、眞守であるか無いか思ふ存分言ふて貰らひたい　彌「然らば御免」とスラリ引拔いて、鎺の工台、鍔際、燒刃の鹽梅、金色、帽子先、匂など能く檢めた上、ピタリと鞘に納めて押戴き　彌「イヤ何うも御立派なもので、難有く拜見致しました、　九「岡島、唯、難有く拜見致したゞけでは困る、遠慮なく鑑定して貰らひたいものだ、大原眞守に相違あるまいな　彌「決して遠慮などは仕りませんけれど、なかなか手前が鑑定を致すなどは思ひも依りません　九「夫れが遠慮と申すものだ、唯今承はれば貴殿は當家中にても第一の鑑定家ぢやさうな、拙者とても兼ねてより貴殿の鑑定に長じて居ることは聽及んで居る、確かに大原眞守に相違あるまいと思ふが、何うであらうな、確かに大原に相違ないや確かなれば此方購めて置かうと思ふと云ふことになれば、實は此刀は出入の刀屋が昨日持つて參つた許りなのだ　彌「ヘエー、それでは御家老樣に申し上げますが、未だ購めに相成りましたといふのではござりませぬか　九「左樣、實は出入の刀屋が持つて參つて無銘ながらも折紙が付いてある、正眞の大原に相違ないと申して居るから購めたいと思つて居るのだ　彌「ヘエー、ヤ、その儀なれば失禮を顧みず申し上げますが、何うも正眞の大原眞守とは少しく思ひ兼ねまするこどで　九「何然らば贋物と申すのか　彌「少しく疑しいところがあります、その上鍔際から三寸ばかり離れましたる所に、毛筋の樣な一寸した筋があります、これが甚だ私には氣になります、現は疵に思はれます、と云ふのは彼れは其の小槌で打ちましたと今些と遇り過ぎまして彼の疵が出てましたのでございませうが、得て斯う云ふ刀は戰場の激しき闘ひに用ゐまするときには、何うかすると折れる樣にも考へることでございます　九「何だ折れる、ヤ岡島貴公は何か此の大原を贋物と云つたな　彌「どうも恐れ入りましてございますが、その樣に私は心得まするでございます、敢て贋物とは申しませんが　九「默れ、曖昧なることをいふ奴ではないか、汝この大野九郎兵衛が贋物を挾して威張つて居るといふのか、何がために滿座の中に於いて拙者に恥を辱した、いよいよこれが贋物に相違ないのか　彌「さう御立腹をいたされましては私は甚だ迷惑仕ります、未だ購めぬのであるから遠慮なく鑑定いたせよとの仰せでござりましてそれゆゑ私は私の見るところだけを、申し上げました樣な譯合、お氣に觸りましたら御勘辨のほどを願ひます　九「イヤ氣に障へるといふ譯ではないけれども、當淺野の家中に於いて諸士の頭に立つ家老たるべき者が、贋物を挾して居つた滿座の中で自慢をいたしたと云はれて見れば、此の方の面皮にも關はることである、然らば此方は、刀屋を呼んで彼れに還して了つたら夫れで宜しい、だが岡島他人の刀に非を打たつしやるが、御身は何んなのを挾して居る、一應拜見いたしたい　彌「ハツ、恐れ入りまするが私のは中々以ちまして……　九「イヤイヤさうでない、御身は他人の刀に非を打つくらゐであるから、定めて相當の者を挾して居るに相違ないと思ふ、アヽ誰れか居らぬか、一リヤ山田　山田「ハイ、」　九「その岡島の腰の物を持つて來て呉れ　彌「恐れながら御家老、その儀ばかりは平にお免しのほどを願ひます　九「イヤイヤさうでもない、御身は鑑定の熟練な者、その鑑定家の御身が惡い腰の物は持つべき筈がない」といふ山田は岡島といふ札の付いてございまする刀を持つて參りました　山「御家老これでござります　九「アヽこれへ貸せ」ハツと彌惣右衛門は眞蒼に相成りまして、これは大變なことが出來たわいと差俯向いて居りますと、九郎兵衛は手に取上げまして　九「ハヽアこれが鑑定家岡島の腰の物であるな、何と見たまへ、柄糸は解けて了つて紙を以て括つてある、ホヽーこの鍔を見たまへ、アヽ好い鍔だな、こいつアまア凉爐の蓋か提灯の揺かの鉄子にでも用ゐたら宜いな、おまけに鞘は罅裂が入つてある、拵へはまづくとも刀身は立派なものであらう、オヤオヤなかなか、何うして拔けぬぞ」漸う鞘を拂ひましたが、流石の岡島彌惣右衛門も顏を赤くして頭を下げたまゝ控へて居ります



告

東京電報

▲バロダ王の着期　印度バロダ王昨日横濱入港關西遊覽を終りて十五日頃入京の豫定(二日)

▲學制改革案の前途　既報學制改革案の一部委員會に於て延期せらるゝや文部當局の狼狽一方ならず小松原文相岡田次官等悉く大臣室に鳩首して善後策に就き凝議する所なり該問題を本會議に附するか或は撤回せんかに就き專ら苦心せしが小松原文相の配下によりて組織せる高等教育會委員會に於て否決を見たるは文相の不信認を表明するに足るべし(同上)

▲實業團体の渡淸　南京博覽會開設に際し淸國視察の途に上るべき日本郵船會社社長近藤廉平東京商業會議所副會頭大橋新太郎氏等一行は本日午後三時三十分新橋發の列車にて發五日下關を經て渡航すべし

▲韓儲の山陰巡遊　韓太子殿下には本年の夏季休暇中京都、鳥取、嶋根の兩縣に行啓せらるべし

▲大島圭介男の輕快　目下國府津別莊に静養中なる大島圭介男は昨今病氣快方に向ひたり(同上)

▲山根顧問の赴任期　山根韓國衛生顧問は三日赴任の途に就く(同上)

▲政友會の地方遊說　政友會の遊說日程及氏名は左の如く決定せり(五月九日)東京府下荏原郡長谷場純孝、鳩山和夫の兩氏(五月十日)山形縣酒田長谷場純孝、松田源治の兩氏(五月二十日)高知市長谷場純孝氏(五月下旬)愛知縣八名不明(六月下旬)静岡縣八名不明(十月)高知市に開くべき四國中國聯合大會人名不明(十月)盛岡に開くべき東北大會人名不明(以上は今回發表されたり)(同)

北京電報

▲爆彈事件ゞ犯人　爆裂彈犯人汪復館、黃復生の刑は愈々無期監禁の刑に處する事となりたるに攝政王は國事犯人は寬大に處罰し其の改心は國家に利益ありて特に大理院に移さずして今回の決定を見るに至れり尚ほ汪は全く連絡ある革命黨員に非ずして其の共謀者たる黃も亦た友誼上よりして謀計に加はりたるものにして至りて穩和の人物なれば二人共も改心するの日には再び大赦の恩典に浴すべしと(三日)

寄書

京龍合併反對(下)

京城民團議員　曾川廣濟

歳出に關するもの

龍山を京城に併合したる以後に於ける經常歳出の增減(龍山四十三年度豫算の歳出以外)を見るべき重なるものを摘擧すれば

小學校費	増	一六、四一三
幼稚園費	増	二、二四二
警備費	増	四〇三
墓地費	増	一、五二〇
街燈費	増	三、六二〇
役所費	減	七、八九〇
差引	増	一一、六八〇

右小學校費は龍山民團の四十三年度豫算教育費一六、四一三圓即ち一校の豫算を更らに一校を新設するものとして倍加計上したるもの幼稚園費は從來全く設備なきを以て新設するものとして其費用を京城民團四十三年度豫算の幼稚園費に準して計上し警備費は京城人口三万九百廿八人に對する龍山人口一万二百六十六人の比例算出に從ひ一、七六〇圓を計上し龍山民團四十三年度の警備費豫算一、三六〇圓を控除したる殘額を示したるもの墓地費も亦た從來全く設備なきを以て新設するものとして京城民團四十三年度の墓地費豫算に從ひ計上せるもの街燈費も亦た從來設備なき街燈を京城に準して新設するものとし京城街燈費の半額を計上する役所費は龍山民團四十三年度豫算役所費一五、七八〇圓は龍山民團の廢止する爲め不用に歸し更らに京城民團出張所を設くる經常費として右一五七八〇圓の半額を要する者を計上したり又今現に陸軍省及鐵道院が修繕を擔任せる道路の一部分甚だ多しと雖も右省院にして若し之れが擔任を放棄する如きあらば民團の負擔は頗る多額を增加せざるを得ざるに至らんとす

京城龍山併合の結果として今明かに支出を要すべき情勢に在るものと認むる臨時歳出を案ずるに

小學校新設費	三五、〇〇〇
幼稚園新設費	七、〇〇〇
路傍下水溝新設費	二八、七〇一
道路新開費	五〇、〇〇〇
役所費中賞與手當	五、〇〇〇
墓地新設費	五、〇〇〇
街燈新設費	二五〇
合計	一三〇、九五一

を計上せざるを得ず小學校新設費は現任の一校を以て學齡子女を收容し難きが故に更らに一校を新設するの必要あり下水溝は從來毫も設備なきを以て京城の道路に準し排水設備を必要とし道路延長三千百八十九間に對し下水溝片側一間に付四圓五十錢の費用を算出し幼稚園新設費は從來未だ幼稚園の設備あらざる爲め其新設費を概算し墓地新設費も亦た未だ其設備あらざるの必要あり賞與手當は龍山民團役所廢止の結果として民長一名會計役一名書記八名雇員三名其他小使等に至るまで一切の所員に對する退職慰勞手當及賞與を支給するの必要に由り道路新開費は龍山居留民の多年の希望なる龍山麻浦間の通路を漢江々岸に開拓するの止むべからざる情勢あるが爲めにして街燈新設費は一箇所五圓として五十箇所を計上したり

此他沿岸市街の年々洪水氾濫の被害地に對しても適當の防禦設備を施さゞるべからず之に要する費途は今俄かに豫定し難しと雖も蓋し數十萬圓を要すべきを勿論なり

併合の結果京城居留民の負擔　若し龍山を京城民團に併合するときは前示の臨時歳出約十三萬余圓と經常歳出に年々約一萬千余圓の負擔の增加は龍山區域の居留民をして恐らくは此負擔に任せしむること能はざるの情狀あるものゝ如きを以て此增加額は之を京城區域の居留民に課せざるべからず然るに京城居留民は現に四十三年度の豫算歳出の總額廿九萬二千四百八十五圓を負擔し即ち人口三萬九百廿八人の一人平均額九圓四十五錢強の責任は決して輕しと云ふを得ざれは若し之に加ふるに龍山區域の事業に支出す前示の經常臨時歳出を負擔せしめ以て京城居留民の膏血を犠牲にするは情理の許さゞる所なりと認む

若し夫れ一時我居留民の膏血を犠牲にするも龍山の併合は京城繁榮發達を增進するに著しき効果を收め得べき的確なる豫期を有するものとせば一時の苦痛を顧みるに遑あらずと爲すも亦た可ならずとせず然れども龍山の併合換言すれば行政區域の擴大に過ぎざる併合は京城居留民の繁榮と京城民團なる自治体の隆盛に關して何の利する所あるを知らず何となれば地方行政區域の各別なるは經濟社會の畛域にあらず行政區域の分合は以て商工業の利害に由る離合聚散を規制すべからざればなり又自治體の隆盛は自主自治以て團體の面目を發揮し其權義を尊重して中央政府の爲めに苟くも動搖せられざるに任りて膨り地域の大と人口の多とを貪るの要なければなり

●親耕式へ扈從諸官　韓帝は來る五日東籍田に親耕式御擧行に付左の諸官に扈從仰付らる

義親王、完興君、李載覺、完順君、李載完、義陽君、李載覺、永宣君、李埈鎔、昌山君、李海昌、內部大臣朴齊純、度支部大臣高永喜、耕籍使農商工部大臣趙重應、宮內部大臣閔丙奭、中樞院議長金允植、學部大臣李容植、宮中顧問官李允用、中樞院顧問李址容、同李根澤、同李夏榮、親衛府長官李秉武、承寧府總管趙民熙、修學院長閔商鎬、宮內府次官小宮三保松、內閣院卿崔錫敏、漢城府尹張憲植、主殿院卿李載[illegible]、籍田令農商工部農務局長中村彦、奉常[illegible]典祀李源昇、執禮宮內府主馬課長李起弘、奉常司[illegible]掌典官李康周

●度量衡ご單位變更　改正度量衡法は全然吾が日本の單位を採用し日韓通商上の利便少からざるが單位の變更は多年の因襲慣行を破り一時的不便を免かれざるを以て普及上少からざる困難あるべきを虞れたりしも施行後の實況を見るに悉く杞憂に屬し各道一般に新度量衡の確實なるを歡迎しつゝあり隨つて單位變更に對する感想の如きも意外なる好況を以て彼等の頭腦に印象し此有樣を以て推行せば期年を待たずして度量衡の根本的統一を期待し得べく蓋し事物の過渡期に際し斯かる現象を認むるを得るは元來頑迷なる韓人に於て最も珍とする處なりと

●魚市場ご取締規則　農商工部にては曩に南韓沿岸の視察を遂げたる庵原漁政課長の報告に基き魚市場取締規則制定の議あり元來魚市場なるものは一般市場と其性質を異にし標準價格を定むべき取引所と同一のものあり然るに現在の狀態を顧みるに全道に亘りて二十餘箇處を算すと雖も其一二を除くの外は單に集散を競ふのみにして公共的觀念に缺如たるの傾向あり則ち現狀の儘に放任せば徒らに其弊害を助長するの虞あるを以て一定の法律を規し之を取締るは刻下の急務なるのみならず韓國漁業發上最も必要なり

●書記官ご警察部長　目下欠員中の道書記官一名警察部長二名は目下內部次官東上人撰中なるが未だ何等通知なきを以て定否未詳なりと而して聞く處によれば希望者は其數甚だ多きも當局の希望に相一致せざる爲め斯くは延引せるものなるべし

●統監邸の大臣會議　三日午後一時より統監邸に於て大臣會議開會石塚長官は統監代理として出席韓國各部大臣及び國分、倉富、小宮、松井、俵の各參與官菊池、鈴木の兩局長藤波通譯官等列席せり

●參與官會議の例會　三日午前十一時三十分より統監府に於て參與官定例會議あり石塚長官を始め國分、俵、松井、小宮、倉富の各參與官及び岡本通信管理局長代理鈴木菊地の兩局長中山書記官等列席せり

●新任道郡主事召集　今回任命さるべき道郡主事は稍々銓任し既に二十餘名に達するを以て來る五日內部に召集し松井次官代理及澤田地方局長より訓示を與へ直ちに任地に赴任せしむる筈なり

●愛國婦人會の總會　愛國婦人會第九回總會は來る九日東京日比谷公園に於て擧行することに決定

●司令部員運動會　駐韓軍司令部下士以下六十余名は來る六日仁川桃山に運動會を開催する由にて準備中なりと

●府尹茶話會開催　金仁川府尹は七日正午より官民を招待して茶話會開催

石黑男爵の旅程

日本赤十字社總裁閑院宮殿下より特に滿韓社業視察を命せられたる本社創立者の一員陸軍々醫總監石黑男爵は本社救護課長木內三等軍醫正を隨へ目下滿洲各委員部巡回中なるが大連、遼陽、鐵嶺、長春、奉天、安東の各赤十字委員部の何れも男の臨場を請ひ順次社員總會を開催する豫定なり尚韓國にては先づ平壤支部の臨時社員會、鎭南浦支部總會、京城支部臨時總會、大邱支部總會に臨場馬山を經て釜山に至り同釜山支部看護婦養成所開所式臨場を終り直に歸東總裁殿下に復命せらるゝ豫定

龍山民會ゴタッ記

三十日午後八時龍山民團役所樓上に於て開會出席議員は執行、松本、渡邊、大村、金井、藤野、國井、兼古、竹內、川內、林の十一氏にして海津議長缺席の爲め執行氏議長席に就き先づ前晩よりの續き物課税等級査定に關する件を附議したるも竹內議員は例に依つて例の雄辯も相手を相勸めたる番外二番を手古摺らせて質問又質問論難やら攻擊やら之れが爲めに了ふ其武者振り恰も小手臑當に身を固め空氣銃を引擔いだるが如く勇しいんと云ふ斗りなし大村議員は分のよい劍けたることゝ又例の如くにして譬へば浴衣の腕より團扇の風を入れながら二勝半七酒屋の段など唸り出さうかの調子面白く可成は民團理事者の提案を容れんとし此の外贊成反對の演說名論卓說無闇に多くして議場を賑はせん斗りなりしが結局兼古議員の提議にて全議員が思ひ〳〵に調査して來る五日調査の結果を持寄り之れを民長の提案と對照して等級を決定することゝなれり次は桃山遊廓規則制定の件異議無く可決確定之れにて閉會時に十一時三十分續いて桃山遊廓區域擴張問題に關する協議會に移らんとせしが何時の間にやら擴張反對者渡邊議員の姿は議場に見へず同じく反對者竹內議員は民長の諮問案に對して可否の決答を與へんが爲めの協議會を開く事すら不賛成なりとて強て議場を退かんとする其次第を見て川田議員は狐鼠々々と議場を罷り退き竹內議員は大村議員執行議員藤野議員等が議會の責任の重んぜざるべからざるを說きて頻りに引留めんとしたれどもイツカナ聽かず此の令名ある紳士を逸して遂に協議會は流れと云はゞ意義の有ることゝならざるべからず殆んど無意義の饒舌を振ふて反對に非らず賛成に非らず桃山遊廓經營者と同問題に關して妥協でも爲し居るやの心持ちにやと思はるゝ文句を並べ大村藤野兩議員に質問やら教訓やらを受けるが如き珍な茶番を見せて與れたり散じたるは十二時過ぎ

經濟小言

▲近者新聞雜報を見るに陰謀とか排日とかの標題跡を絕つの傾向あり、是人心の日に新しきに赴くの證據にして擊履黨には氣の毒なるも時世は遠慮を爲さざるなり。

▲假りに昨日の本紙に徵せ、記事の重なるものは韓政府の新借款、韓銀と農銀連絡、[illegible]鹽局開廳式、平壤鑛業所の改革、土地大三角測量着手、日韓瓦斯の營業刷新、手形交換所の設立、取引所委員會等にして何れも經濟關係の記事なり。

▲斯く經濟記事の多く掲げらるるに至りたるは取も直さず社會に經濟事項の增加したる證據にして之を掲げる新聞紙が讀者の嗜好に投ずるは偶々社會が經濟事項を重要視するに至りたるを證するなり。

▲度支部が僅かなる骨董的產業なる人參商賣に餘りに力を注ぐとて難ずるものの如きも何れかと云へば記者も何れかと云ふものなり、記者の如きは金高に積つて一ヶ年の產出多くも數十萬貯なくば數萬に過ぎざる人參商賣の爲に特に參政局などと稱する役所を置くを餘りに仰々しと見るものなり、而れども國は朝鮮なり人は朝鮮人なり、參政局の仕事は單に人參業を營むのみに非ず實に朝鮮人に產業的訓練を與ふるなり。

▲度支部當局は紅參を作つて國庫の收入を增すとか、紅參は半島古來の名物故之を保護するとか種々の理屈を言ふなるべし、而かも記者は其意味にては度支當局に與みせず、記者が異面目に參政局の仕事に重を置く所以の者は實に該局が貴重なる產業的訓練を韓人に與ふるを以てなり。

▲開城韓人は由來算盤に明なり、此開城人に產業的訓練を與ふ度支部の計畫蓋し徒爾ならずと云ふべし、米國宣教師が特に實業學校を此地に設けたる豈故なしとせんや。

●韓銀貨幣發行週報

一、銀行券總發行平均高(自四月廿四日至四月三十日)	一三、一三六、五六〇
內正貨準備發行高	四、九七〇、七八六
保證準備發行高	八、一六五、七七四
二、銀行券平均手許有高	六四九、八七〇
三、銀行券市場平均流通高	一二、四八六、六九〇
四、硬貨發行高(四月三十日現在)	六、三三三、三六五
內 金貨二十圓	一、八五〇、〇〇〇
同十圓	五〇〇、〇〇〇
同五圓	五〇〇、〇〇〇
銀貨五十錢	九一八、五〇〇
同二十錢	一、四六五、五〇〇
同十錢	九九一、五〇〇
白銅貨五錢	六五三、三五〇
青銅貨一錢	二六四、〇一五
同五厘	八〇、五〇〇

●兩民團合併協議會　既報の如く京城民團にては京龍兩民團合併問題に關し二日午後七時より議員全体の協議會を開きたるが出席者は曾我、釘本、皆川、中島、松永、前田、城、石井、關の九氏にして贊否交々討議を重ねたるも結局市民一般の利害休戚に關係を有する大問題なるを以て斯かる少數にて議了するは穩かならず則ち一人にても多數の出席を得て協議せんとて更に再開を約して散會せりと云

●米國名士學校觀覽　目下滯在中なる米國著名の著述家ブライス、コレア氏は二日學部職員池邊統監府書記官、山縣ソールプレス社長等の案內にて公立於義洞普通學校、官立工業傳習所、大韓醫院、官立高等女學校、同高等學校、同師範學校を觀覽し尙學部に俵次官を訪問し會談せり

●平北觀光團の歸來　平安北道公私立學校教職員及學校關係者拾余名より成る福岡共進會觀光團は二日夜歸京したり學部及漢城府學校關係者は三日午後一時より漢城師範學校に一行を招待し懇話會を開きたるが觀光の結果は頗る有益のものなりしと

●紐育ヘラルド記者　過日入京し亞米利加木挽職を肩書しアストルハウスに滯在中なる紐育ヘラルド記者アンダースン氏は今朝警視廳及西南兩警察署を訪問したりと

●谷田司令官の出發　谷田憲兵司令官は三日午前九時南大門驛發にて釜山及慶北道に向はれたるが山形京城分隊長は烏致院迄見送られたり

●取引所委員會流會　韓國取引所問題に關する商業會議所委員會は別項民團協議會と突合たる爲め委員中差支ありて流會となれりと

●仁川會議所役員會　仁川商業會議所役員會は三日開會役員辭名改稱の件外二件に付審議する筈

●朝鮮「五月號」　雜誌朝鮮五月號出づ旭邦子の『朝鮮合併論の前途』『曾禰統監の辭任說』『官紀風紀衛生の取締』は予一流の突飛式論調甚だ高く目新らしからざる題目を捕へて新らしく讀ましめ思切りたる論鋒攻擊ゝ些の厭味なく皮肉ならざる處子が獨特の妙味を覺するもの讀者は定めて滿足ならん長谷場衆議院議長の『對韓經營の要截』小川代議士の『合併論』大內暢三氏の『對韓經綸』宮源稠、實業資料欄讀むべく訪問錄は面白し(本町九同社發行)

●林田少佐の出張　軍司令部附同少佐は來る五日出發楊州地方へ出張の筈

●松井信助氏來京　木浦警察署長は三日仁川署を訪問し夫れより入京すと

●岩崎民長の入京　岩崎民長は三日道路開鑿に關する要件を帶び入京せり

●高根信禮氏入京　木浦民長高根信禮氏は三日群山丸にて來仁直に入京す

大倉鶴翁を訪ふ(上)

一記者

三日朝大倉喜八郎翁を旅館天眞樓に訪ふ女中に案內されて一室に通れば翁は天竺木綿でなく羽二重で無く魚子で無く一樂でも無く於此記者には名も分らぬ女の着さうな黑の紋付の羽織に模樣ある縮緬の衣裳は內君の長襦袢を一寸借用に及べるが如きを着流しつゝ最と笑ましげに記者を迎へて些の隔意なき狀にて話しかけられ其の上記者は實は初對面ながら風貌は雜誌の口繪等にて屢々目にかゝり居ることゝて何となく初對面の氣持ちに成れず因て其邊の挨拶は然る可く省略して翁が漆黑の頭髮と肉豐かにつや〳〵しき頰の邊を見比べつゝ「貴翁は大分の御年齡の樣に聞いて居りましたが髮は黑し色艷と云ひ皺は見へず大變若く見へますが……」と同席の一韓人を顧みて「爾うでムいます」との承認を求め置き更に翁に向つて「一体お幾歲ですか」と問へば翁は「七十四才になりますが幸に至つて壯健で今度の如きも家族の懸念なく一人旅に出して與れます」と打咲ひ「妙に髮も黑く皺も困る程は寄りません」と言葉の杜切れしを見るや前記の韓人は越農細が韓國の料亭を御覽に入れたしとの案內の口上を陳ぶる翁は其厚意を謝し招待に應ずべき旨を答へ「私は日本料理や洋食よりも朝鮮料理が誠に結構です。アノ松の實など入れた軟かなのや神仙爐なぞは宜しいですね願くは勝手がましいが朝鮮料理にして頂きたい」と話を出られて韓人はホク〳〵もの記者も餘儀無く相槌を打ちつゝ急に話頭を引寄せて翁が此行の目的を問ひしに韓國には別に所要あるに非らず本溪湖に炭礦を經營し居るに依り其の用向きにて彼地に出張の途次當地に立寄りたるなり其所用を果たした上は長春、哈爾賓邊まで視察し大連に出で歸朝の豫定なりと答へて韓客に向ひ『朝鮮には花が有りませんね』と不意打を喰はし『栽培したら可いですね釜山から京城まで山には木が無し垣根に花が無し池があつても違が無い……之れは日本人が教へるが可いです……』

▲治外法權▼

大屆管理局長は來る八日を以て所管換披露の園遊會を血の出る樣な金で造つた官邸庭園に於て擧行するソウだ、披露會をやつたり庭を作つたりする金があるなら飛行列車を增したり、近距離賃金を下げたりする方が良かろう▲宇佐川東拓總裁は近日東上する、記者は此機會に於て一ツ案破拔をやろう、同總裁が此節東上する時連絡船から降りてやれやれと腰を撫でつゝ下關停車場へ入つた、此所にれ約束の專賣局監視人俗に煙草探偵が四五人見張つて居た、其中の一人が進んで來た、探偵は東拓總裁とは知らぬ、東拓總裁は探偵とは氣附かぬ▲探偵は宇佐川さんに向つて君は煙草を持つて居るかと尋ねた、宇佐川さんは一本與れと云ふのだと解釋した、洋服のカクシを探して敷島一本を見付けだした、ソウしてソレを探偵にやろうとした探偵曰く、拙者は專賣局の監視人だ君が持つてる煙草を皆出しなさいと、宇佐川さん曰く京城から持つて來た敷島の殘りは之れ一本だと、凡そ三十分間許り押問答の末ドッチも要領を得ずして物分れとなつた▲內地から戻つた長峽君亦も不相變胃癌打消の筆を採り始めた、引合に出たのが長谷川大將と荻原守一だ、大岡君の筆で胃癌が胃癌になつたら神武以來の奇蹟だ▲統監府の圓形物が轉勤するは餘程オモロイ、恐らくは河豚の卵が孵化したのであらう▲統監の病氣中癌をマヂメに祈つて居るものは京日の債權者だ、若しもの事があつたら長峽チは十四子と手に手をとつて逐電して仕舞ふ、ツイ此間もソレをやりかけて山の上から散々叱られた。



名妓洗髪のれ妻（九）

▽羽左衛門と一緒に風呂
▽表札の泥棒は羽左衛門

其時分住つて居た家が大川に枕んで、座敷が水に突き出てゐて**れ隣**が鬼丸の家ですから、座敷の廊下からは鬼丸の家が見えるので、米倉さんが居ない時には市村がソッと來ちゃ**鬼丸**に惚れやしないかしくなんて云ふので、夫れはチョイく市村とは**嫌曳**をしました、何日、夏の夕方でしたがね市村が引入れて**一緒に風呂**に入つて戯けてゐると、表へドヤく人が來るので、何うでせう市村が中洲の方へ來ると、深川くんだりから、娘さん達が女供させて覗きに來るのですよ、厭になつちまふよ▲市村なんか矢張り米倉さんと言へばね、斯んな事もありましたよ、矢張私が米倉さんの中洲に引いて居た時の事で、小石を投込む前居たしかね宅の**表札**が毎夜く夜の中に**無く**なるのですよ、幾何丈夫に釘でウントコサと打ち込んであつても朝になると無くなつてゐる、家内中不審がつてましたが私は市村ぢやないかと思ひましたもの、宅の者はマサカ若旦那ぢやありますまい今日も續いて毎晩くなのですもの云つてましたが其後の事です、私が當時**市村**が住つてゐる本村の宅へ行つてゐると丁度私が箪笥の前に座りましたので市村が箪笥に金が入つてゐるからといふので私が**抽出**を何心なしに開けると驚いたぢやありませんか、『安達つぎ』と書いてある表札が幾枚もく溜つてゐるのです「お、中洲の**表札泥棒**は若旦那だつたのね」と云ふと、ウンと云つて澄してゐるのです、夫れから毎晩のやうに**梅幸**さんを逆くと聞くと毎晩のやうに來たので表札を剝がしに來たのですとさ、夫れから梅幸さんを引張り出したのは一人ぢやあ丈が足りんものですから梅幸さんが大變になつて市村が脊の上に立つて芝居の道具方の釘拔縁を懐に忍ばして悪戯ですものね、敵やしません成が此前市村が**今のれ春**さんを貰ふ時に梅幸さんが例の表札を恭しく奉書に包んで祝に贈つたのですで時が時なり市村が閉口したさうです

義太の權助が戀

▽竊棒の筋斗反へり

デント一撥打ち込めば棚の達磨が笑ひ出しエーと一聲唸らうなら棚の達磨も踊り出すハテ面妖もへつタクレも有たものかい達磨奴が棚より外の世間見ず妾の脚が短かうても有るには相違無いがいやい脚の脚何ざやらして短うてもウー結構とタアちやんが……夫れに何ぞやウヌ等が仲間か何ぞの如に尻輪ばかりで姐さんのれ顔が立つと思ふかやアノ此竊ナ竊棒々々べらぼう奴がイヤサ竊棒の筋斗反へりをして見やうかウン……ドタン、バタン……立直つて之れでもかとハッタと睨む**襟痒**さを何うして呉れると云ふたが最後ナ、何んだとへエ、口惜しや腹立しや抑も妾を何だと思ふ江戸で生れて何處やらで育ち今ぢや京城でアノ左褄と唄の文句を料で行く井門の内の權助姐さん肩の邊へ隱う手をかけてあのタアちやんがオイ權助俺はれ前が氣に入つたと言はしやんしたこともあるグッと反り身の程の好さ目尻に少々曰くはあれど夫れさへ妾は好ましうてくエ、モウたまらぬほどに思ふにつけ君江といふ名を呪ひもした女冥利にかなふた女何うして呉れるは此方から云ひたいじやまでウワッハハ、さは去りながら此頭は外に增す花出來たとやら久々に顔見せてもツンと澄して居やしやんす己れやれ薄情男思ひ知らさで置かうかと顔見ぬ時は思へども會見れば又嬉しさが込み上げて心の嫉刄も鈍りますと連翹の花に春雨の之れも風情と云はゞいふべし

親衛府解散夢

▽自分の考で自分で狼狽
▽韓人將校連の躍起運動

親衛府監督日本人將校三名は日本に歸還後未だ後任者の任命なき爲め同府韓人將校連は之れを以て親衛府解散の準備なるべしと臆測し果して然からば**下士以下**六百餘名は其の日より**糊口に窮**するに至るは明白なれば遂に相卒ひて**暴徒と化**すも知る可らずと云々なる一種の威赫的**建白書**を過日其の筋に**提出**せる由なるが全体云へば聞なから見る夢と知るべし

公州府の大火

……全燒家屋六十余戸……

三日午前三時其筋へ達したる報導によれば今三日午前〇時十分忠清南道公州府日本人大工職高島音一方より失火し時恰も西方烈しく消防其の効なく遂に日本人家屋三十二戸韓人家屋二十八戸支那人家屋一戸計六十一戸を全燒せり人畜死傷なきも損害高は目下取調中



女振り

翠柳樓主 貴田りゆう女

生れは大分縣日田町で大原八幡宮の氏子である、京城へは明治二十六年に入つたのだが此より前仁川や元山にも居たと云ふから渡韓したのは隨分の昔であらふ、本夫は博多生れの貴田某と云ふ、夫婦共に現の巴城館主松本卯市君がマダ原金旅館の所で料理屋をして居た家へ奉公人として住み込んだ、越へて二十七年日清戰爭に際會したので御用商人として食糧品の納入をして静かならず儲けた即ち搦翠樓は斯くして二十八年正月元旦開業せられた、時は好しれりゆうさんの腕は切れる、トンく拍子に今日の搦翠の基礎は固められた、先づ安心と思ふ所で貴田君は此の世を去つた、利かぬ氣のれりゆうさん暫時は女の手で支へて居たが何かに附けて不都合を感ずるので藤谷某を内縁の良人とした、四十年の夏丸燒となつたので新築計畫の爲め藤谷は下關へ旅行中四十一年客死した、斯く不幸が續いたに拘はらず今の家屋の建築を見た、れりゆうさんの手腕の凡ならざる敬服に餘りあるであらふ、玆に一つ此の人にして此の疾わりと嘆せしむるものは惡物喰ひをする、即ち好んで馬の脚を食うことで彼の愛澤正義に丈も數千圓を貢いだ加かも蔭では難魚場の犬だなぞ惡口を云はれ乍ら、年は四十二か三だ兎に角一種の傑物である。

李在明の公判

▽辯護士の都合で延期

四日開廷の筈なりし兇漢李在明の公判は辯護士の都合に依り公判を延期し來る十三日開廷と決定したりと云ふ

●**亂暴男**は牛肉屋 長崎縣佐世保市港町五十八番戸當時本町一丁目五十三番戸牛肉屋武雄信一（三〇）は二日午前八時頃南大門通り市場入口に於て盤石坊里門洞五十七統一戸鄭致須なる者が車に白米を載せ市場に赴かんとする途中信一は不都合にも道路に停立し通行を妨害するより鄭は傍によらん事を請求せしに是れ聽せざるのみならず鄭致順の右足を蹴り負傷せしめ又面部を打撲し鼻より出血せしめたるを韓人巡査之を認め制せんとするに肯せず却つて抵抗を爲し韓巡査を毆打する等亂暴を働くより南大門通り派出所日本人巡査西部署に引致取調の上一夜留置して三日說諭放還

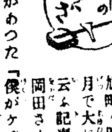
●**御馳走酒と情死** 仁川龍洞基永方居住の擔軍李聖根（五四）と云ふは一日午後九時頃仁川稅關前棧橋より海中に墜落して溺死を遂げたるが此急報に接し仁川署より係官出張檢視の上取調べを爲したるに同伴し聖根は祝言の宴に聘ばれて泥醉し踏み占むる足も覺束なく同棧橋にて舟より上る人を行きつ戻りつして待ちたるに足許狂ひて海中に落ち込み遂ひに安い命を捨てしものと判明せしかば屍体は親族の者に引渡したりと

●**舊惡遂に露顯す** 原籍福岡縣直方町松尾治三郎（一八）と云ふは仁川宮町宮田床に奉公中隣の煙草屋及び同町の書し屋にて金品を窃取したるのみならず郷里に於ても某質屋より衣類數十點を窃取せし舊惡露顯に及び去月三十日京城永樂町二丁目藤田床にて仁川署刑事の手に捕へられ一昨日檢事局に送られたりと

●**韓人銃器の押收** 南部東門外泥八里四統戸金昌源（三〇）同所五統一戸柳須基（三九）の二名銃器を所持し居ると の風說あるより寧洞分遣所憲兵同家に出張取調し處金は支那銃一挺同實包五發柳は火繩銃一挺附屬火藥入一個を所持し居るより押收

●**無屆營業者處分** 岡山縣平民當時米倉町四丁目二十番戸酒小賣業中田紋三郎（三四）は大平町三丁目加藤駒吉方に於て無免許にて賭博に類似する玉倒しと稱する遊技場を開業したる事西部署の刑事に認められ取調の上拘留十日に處せらる

●**歌舞伎座と壽座** ▽一は新派に一は舊派 既報の如く旭町歌舞伎座は新派木村猛夫一座にて昨日より開場せしが前景氣頗る宜敷く殊に今四日の演物は一昨年來韓の際同一座の出し狂言として數回繰り返したる『夾御殿』にして是は木村の爲め特に書き卸したるもの由にて毒婦と惡爺と忠勤無二の家令とを木村一人が仕譯ける筈にて劇の筋と云ふよりも寧ろ木村の技藝を見せると云ふ所謂御目見得狂言なるが波瀾の多きと場面の變化の多きは見たゞけで愉快を感ず



廊のうはさ

▲壽座の少年劇は相變らず好評にして空前の大入を占め居れるか殿早余す處數日となつたれば一層演し物を選び一座大車輪を以て演ずる由尚今四日の替りは前が『一の谷』后が『左り甚五郎』殊に一の谷は一座の尤も特意とせる處にして須磨の浦の場に使用する馬の如き態々新調して日本より取り寄せたる位なりと云ふ當日の重なる配役左の如し

忠欽、相摸、京人形（訥茂丸）林、平山、五八組（錦太郎）中大納言軍次、家主齋藤次（五郎）序義經、太吾平、番頭（珊瑚）序六彌太、小僧（訥子松郎）六彌太、義經、甚五郎（狐狗狸）序菊の前軍兵（紀の子）序熊谷、みだ六、非番太政五郎）菊の前、藤の方、女房（蜻蛉）熊谷次郎直實（時子）

此間の本欄にあつた旭町の岡田さんが花月で大に奪られたと云ふ記事に就てその岡田さんから下の如き投書があつた『僕がケチンボウか女に取る腕がないのか、遣る金は有りても取らるゝ金はもたぬ、花月の藝妓や仲居の爲めに取消し置くものなり、旭町岡田』▲店出し早々から中券の第二位を占めた花月の福奴と云ふは千圓に餘まつた身の代金を掛けられただけあつて慥かに優物である、それに中々凄い腕を持て居るグナ、初店でアレだけ振へる位だから追々は振つて振つて振り飛ばすであらふ、但し餘り一方を揮つては下る事勿論▲長髮れ竹さんを凌駕すると云ふを以て艶名を唄はれつゝある花月の艶子が此程岩本辯護士と一座した際、れ前は以前何處に居つたかと問はれハイ大分の函谷に居りましたと何氣なく答へしに函谷は有名な女郎屋のある處ゆへ、口惡の岩本君はジャー貴様は女郎であつたなと一本參つた處利かぬ氣の艶子ニョキくと額に角筋を立てハイ女郎が何んですドウ致しましたとそれはくドエライ權幕に流石の岩本氏も頓首閉口の体を傍で見て取つたる岩田さんと辰子裙との仲裁でヤット納まつたとはサテモ恐ろしの艶子の權幕かな（郭雀）

●**一日の運動會覗き**

……日韓瓦斯電氣會社……統監府雇員傭人給仕連……日韓印刷藤田合名兩會社……

●●觀桃會！いづれは言葉の八千草かすのこのかすく取り蒐め刈り集め運りに運り素繰りにすぐりたる上名けられたるものならむが凝つては思案に能はぬ末が斯う決つたものの樣だ。子供は蝶よ目蒐けて菫など打ちつけて萬歳を連呼してる好案配だなど思ふ間もなく「抱いて頂戴」と來た、除り嬉しくないが樂てゝ避けば臥榑相である、▲子供を伴いて出るも宜いが實際此だ、奧様方の御参考迄に申して置く。鬼角して練兵場に到るとドンくくジャンくヒューくヒュエヒュンのヒュンと日韓兩樂隊の響く所、山も崖も人で塡まつて居る……實際其所丈けは塡まつて居た…其所が日韓印刷藤田台名兩會社の運動會場だ、小旗を樹てゝ分科してゐる、見ると支配人明石君は人の手の上に載せられ祝はれて居る、一寸此方を覗くと其場には工場員の深川踊、カッポレ、茶番等の異最中、●●金子某の仁王像最も振つた、襖い て●●清水席の藝妓半玉連の頗るクチク式踊りがある、勇助の座頭最も可、競走が初まる可愛らしい半玉のれ何ちやんが一等を取つた、ト僕の子供も賞品を呉れと云ふ、競走せぬ人には呉れぬのだよと云つても肯かぬ、遂に一等を強請り得て曰く『れ父ッアン嘘ばッかチ』聞く人哄笑。

之れに隣りで棟木高く殿居作られたるは統監府雇員傭人給仕連の大運動會場である、紅白の幔幕打ち繞らしたる裡に●●落馬將軍田中鵬山羊髯を押つ立てゝの指揮の下に諸種の競技は進行してる來賓も大分あつたが運動を見に來たんぢやないよと云つた風に天幕の裡でパクッて御座る、彼れから見れば僕は少食の方だ、綱引きに飛び入つて金剛力を振り絞つたが時利あらず負けて轉んだ喧嘩でも爲て居るかと思つて泣く見を聽し唖然として歎じたね「モウ歸らん哉」と、見曰く『チョウチマチョウ』歸途驛前のエーテーに憩ふと元女將れ米君が休んで居る、淫賣の中がれ客の酒に醉つて盛んにガく云つてる、對手が鐵道のれ役人だガラくでも立派に納まつてる京城の春は長閑なもんさ（紫生）

今日の運勢

五月四日舊三月廿四日　友引己巳　除△一白なり但し大なる賓罪起り易し人物を待つし△二黑　靖寧の●旅行貸借を忌む婚姻養子の縁●三碧　保健衛生に留意すべし●行見合せの事△四綠　不和中●り易し金品授受間違起り易し●自負尊大破れを生せんとす出●相談効有り△六白　金錢印章●何盜害紛爭の虞れあり△七赤●針替整理の遂行に適す旅行見●△八白●家畜從者の上に注意●他部穩△九紫　見込違ひ多き●●見合せ●事金銀婦人●●本町五丁目三一館判斷）

東風晴後曇

●**天氣豫報** 自三日午後●時至四日午後●時

제395호　1910. 5. 4.

